

伊ラグビー連盟会長「菅平 トレーニングに最適」

イタリアラグビー連盟のアルフレッド・ガヴァッツィ会長は29日、2019年のワールドカップ（W杯）日本大会の際にイタリア代表が事前キャンプを行う上田市菅平高原を視察した。標高約1300mのサニアパーク菅平では「トレーニングに最適の場所だ」と評価した。

サニアパーク菅平で観光関係者らの出迎えを受けた会長は、市の担当者の案内で更衣室などを備えた管理棟やラグビーの試合を行うメイングラウンドを見て回った。取材に「必要な設備はそろっている。グラウンドの状態も良く、選手たちも気に入るだろう」と感想を述べた。菅平高原国際リゾートセンターに隣接して市が建設を進め、18年9月にオープン予定の屋内運動施設「菅平地区振興施設」も外観を視察した。

19年W杯事前キャンプで視察



サニアパーク菅平のメイングラウンド（右）などを視察するガヴァッツィ会長（中央）

菅平高原で宿泊施設を運営する小林秀明さん(34)は会長の視察を見守り「事前キャンプにより海外のナショナルチームが菅平で合宿をする実績ができる。今後、少子

化で国内合宿の需要が減っていくことも予想されているので、海外での菅平の知名度向上に期待している」と話した。